

富津市経営改革会議 会議録

1 会議の名称	第1回「富津市経営改革会議」
2 開催日時	平成26年10月31日(金) 11時00分～12時11分
3 開催場所	富津市役所4階401会議室
4 審議等事項	1 富津市の現状について
5 出席者名	経営改革会議委員(5名) 原田賢一郎 大塚成男 落合幸隆 笠原文善 堺谷操 事務局(20名) 市長 佐久間清治、副市長 高橋恭市、教育長 渡辺隆二、 総務部長 小泉義行、企画財政部長 刈込幹夫、 市民部長 磯貝睦美、健康福祉部長 前沢幸雄、 経済環境部長 剣持壽志、消防長 高橋進一、 会計管理者 小柴晴雄、農業委員会事務局長 高梨廣、 選挙管理委員会・監査委員事務局長 平野正弘、 教育部長 古宮浩二、水道部長 川口泰明、 行政管理課長 小柴勝弘、財政課長 重城祐、 納税課長 村上泰隆、財政課財政係長 石川富博、 行政管理課行革推進係長 高梨正之、 行政管理課行革推進係 吉原香保利
6 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	30人(定員 30人)
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

平成26年 11月 18日

富津市経営改革会議

会議録署名人

大塚成男

会議録署名人

落合幸隆

第1回「富津市経営改革会議」会議録

発言者	発言内容
高梨行革推進係長	<p>ただ今から、第1回富津市経営改革会議を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しいところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の会議の進行をさせていただきます事務局総務部行政管理課の高梨と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>また、本日は、初めての会議でございます。後ほど委員の皆様で会長及び副会長をお選びいただきますが、それまでの間、私の方で会議の進行を努めさせていただきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議の進行につきましては、お手元に配布してございます、会議次第によりまして進めさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。</p> <p>また、資料は事前に送付させていただいております。資料1から4につきまして、不備等はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〈「大丈夫です。」の声あり〉</p>
高梨行革推進係長	<p>また、本日資料5、6を新たに追加させていただいております。ご了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは、富津市長佐久間清治よりご挨拶を申し上げます。</p>
佐久間市長	<p>おはようございます。第1回富津市経営改革会議の開会に当たりご挨拶を申し上げます。</p> <p>委員の皆様方には、公私ともご多用のなか、富津市の危機的な財政状況の改善に、お力添えを賜りたくお願いいたしましたところ、富津市経営改革会議委員をお引き受け頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>先般の報道以降、市民の皆さんに現状をお知らせするため、10月15日から29日まで合計11回の説明会を開催し、延べ1,700人を超える方にご参加いただき、様々なご意見を頂きました。</p> <p>住民説明会でも申し上げましたが、当市は市制施行以来、一度も赤字に陥ったことはございません。しかし、毎年400人を超える人口減、それに伴う税収減は、じわじわと当市の財政運営を圧迫してきたものと言えます。そして、現状のままなら来年度3億円の赤字見込みという試算には、非常に強い危機感を持っております。</p> <p>このような状況から脱するため、経営改革会議発足の本日を、まさに経営改革のスタートとし、全庁を挙げて何としてもこの危機を克服しなければなりません。これから私が目指していくのは、持続可能で若い世代が安心して住める魅力に満ちた富津市です。これは、市民の皆様と行政がともに目指していかなければ実現することはできない</p>

<p>高梨行革推進係 長</p>	<p>と考えております。 市の最高責任者として、不退転の決意で改革に取り組んで参ります。 ご協力のほどをよろしくお願い申しあげまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、報道の皆様、これにて撮影を終了させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 次に、委員の皆様方のご紹介をさせていただきます。 委員名簿の順によりご紹介をさせていただきます。 恐れ入りますが、お名前をお呼びいたしましたら、その場にてご起立をいただきたいと存じます。 北海道大学公共政策大学院教授の原田賢一郎様でございます。 千葉大学大学院人文社会科学部研究科長・教授の大塚成男様でございます。 落合公認会計士事務所公認会計士・税理士の落合幸隆様でございます。 株式会社キミカ代表取締役社長の笠原文善様でございます。 元千葉県県土整備部理事の堺谷操様でございます。 以上で委員の方々のご紹介を終わります。 次に、特別職並びに事務局職員の紹介をさせていただきます。 市長の佐久間清治です。副市長の高橋恭市です。教育長の渡辺隆二です。総務部長の小泉義行です。企画財政部長の刈込幹夫です。市民部長の磯貝睦美です。健康福祉部長の前沢幸雄です。経済環境部長の剣持壽志です。消防長の高橋進一です。会計管理者の小柴晴雄です。農業委員会事務局長の高梨廣です。選挙管理委員会・監査委員事務局長の平野正弘です。教育部長の古宮浩二です。水道部長の川口泰明です。行政管理課長の小柴勝弘です。財政課長の重城祐です。納税課長の村上泰隆です。財政課財政係長の石川富博です。行政管理課副主査の吉原香保利です。以上で紹介を終わります。 次に会長・副会長選出でございます。 選出につきましては、富津市経営改革会議設置条例第5条第1項の規定により、委員の皆様の互選となっておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p>
<p>笠原委員</p>	<p>一言よろしいでしょうか。 5人の方、各々違う立場からここに選ばれて来ているかと思えます。私の場合、地元出身で、地元の企業経営者としてここへ出ております。地方自治とか行政については、非常に疎いというか素人でございます。 一方で、他の4名の委員の方皆さん、地方自治ご専門だったり、あるいは、財務諸表の作成等で行政に関わっているという方ばかりです。まず、この4名の方の中から正・副会長を選んでいただくことが妥当だと思うんですけども、自分をまず置いておいて、そう</p>

	<p>いう目で考えてみますと、いろいろな切り口でこれから大胆にいろいろな提言をして、活発なディスカッションをするということになるかと思えます。最終的には現実的で、実行のある提言にまとめていかなければいけないということかと思えます。</p> <p>そうなりますと、行政の現場の実態に精通している方に最後は取りまとめをしていただくということが良いかと思えます。</p> <p>ご経歴をお聞きしまして、千葉県庁で長年ご活躍され、県土整備部理事を務められた、堺谷委員に取りまとめ役をお願いしてはどうかと。それから、総務省で鍛えられて、かつて千葉県庁でもご活躍された、北海道大学教授の原田先生に補佐役を務めていただいておりますが、いかがでございましょうか。</p>
落合委員	同意します。
大塚委員	異議ありません。
高梨行革推進係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、異議がないということでございますので、互選によりまして会長には堺谷操様、副会長には原田賢一郎様がそれぞれ選ばれました。</p> <p>それでは、堺谷委員につきましては、会長席にお着きいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会長・副会長から一言ずつご就任のご挨拶を頂戴したいと思います。</p>
堺谷会長	<p>堺谷でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、5年前まで千葉県の職員として地方行政に携わって参りました。</p> <p>そういったことで、先ほど市長から、富津市の経営改革についての不退職の決意を述べられました。この会議での議論、あるいは提言が、そのために役立つように、また、貢献できるように会議の運営を進めていきたいと考えております。</p> <p>どうぞよろしくご協力お願いします。</p>
高梨行革推進係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、原田副会長お願いいたします。</p>
原田副会長	<p>副会長という大役を仰せつかりました、原田でございます。</p> <p>先ほど笠原委員からもお話がありましたけれども、私は元々総務省、昔の自治省出身でございまして、千葉県にも4年間ほど勤務をさせていただきました。また、その後しばらく時を経てでございますけれども、他県ではございますけれども、副町長などもやらせていただいたような経験もございます。</p> <p>それがどれだけお役に立つかわかりませんが、微力ではござ</p>

高梨行革推進係長	<p>いますけれども、先ほどの市長からの大変重いお言葉を受けて、精一杯堺谷会長をお助けしながら、また、皆さんともご議論させていただきながら、提言の取りまとめに尽力させていただきたいと思っております。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、富津市長佐久間清治から、富津市経営改革会議に対しまして諮問を申し上げます。</p> <p>恐れ入りますが、堺谷会長におかれましては、その場にご起立をお願いしたいと思います。</p>
佐久間市長	<p>富津市経営改革会議会長様。富津市長佐久間清治。</p> <p>富津市経営改革の方針について、諮問。</p> <p>富津市経営改革会議設置条例第2条第1項の規定に基づき、下記のとおり諮問します。</p> <p>1 諮問事項</p> <p>将来にわたり持続可能な行政経営の推進に向けて、本市が取り組むべき改革の方針及び具体的な方策について</p> <p>2 諮問理由</p> <p>現在の危機的な財政状況を改善するため、これまでの行政経営を抜本的に見直し、将来にわたり持続可能な行政経営に向け改革を推進する必要がありますので、その方策について諮問するものであります。</p>
高梨行革推進係長	<p>堺谷会長、ご着席ください。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、堺谷会長、これからの会議の議長といたしまして、進行をよろしくお願ひいたします。</p>
堺谷会長	<p>まず、議題に入る前に、会議録の署名人の選出につきまして、協議をお願いしたいと思います。私の方から指名する方お二人で、署名人をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〈「異議なし」の声あり〉</p> <p>ご異議ないようですので、私の方から指名をさせていただきます。今回の会議録の署名につきましては、大塚委員、落合委員よろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">〈「はい。」の声あり〉</p>
堺谷会長	<p>それからもう一点、先ほど、市長からご挨拶と同時に決意表明をいただきましたが、この会議を進めるに当たりまして、一言申し上げたいと思ひます。</p>

<p>重城財政課長</p>	<p>この間の報道等のことで、市民の皆様が大変不安になってきたのではないかというように思います。また、市民に対しての情報提供についても十分ではなかったのではないかと、こういった意見も聞くこともございますので、その辺についてはしっかり反省をお願いしたいと思います。</p> <p>市長さんのリーダーシップの下で、責任を持ってこれから議論いたします、経営改革について取り組んで進めさせていただきたいとそうように思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議題に早速入りますが、議題（１）の「富津市の現状について」でございます。</p> <p>事前に資料は配布されておりますけれども、皆様目を通されておられると思いますけれども、改めて市の方から簡潔に説明をいただくとともに、併せて市としてどういう点が財政悪化の要因であるか、そういった市の自らの分析と言いますか、そういったところを併せて説明をお願いしたいと思います。</p> <p>財政課長の重城です。</p> <p>私から資料１から４について、ご説明いたします。</p> <p>資料１ 富津市中期収支見込みについて、説明申し上げます。</p> <p>この資料は、去る８月２９日に市議会全員協議会で説明するとともに、報道発表したところでございます。</p> <p>富津市中期収支見込の１ページ、２ページをご覧ください。</p> <p>本中期収支見込み推計の前提としては、基本的には３１年度まで現行制度が続くものとし、現計画のもとにこれまで得られた情報を盛り込んで推計しています。</p> <p>まず、２６年度の欄をご覧ください。</p> <p>推計の基礎となる２６年度の決算見込みについて、説明いたします。</p> <p>１ページの一番下の行をご覧ください。</p> <p>本年度の決算見込額は、歳入合計が１６０億１，３００万円、２ページの歳出合計が１６０億３００万円で、その下欄の歳入歳出差引１，０００万円と現在のところ黒字決算であると見込んでいます。</p> <p>次に、歳入歳出の各項目のうち、２７年度以降で金額の大きな項目とその増減理由についてご説明申し上げます。</p> <p>まず、１ページの歳入のうち１の市税であります。平成３１年度に企業の設備投資による固定資産税の増収が見込まれるものの、それまでは引き続き減収になると見込んでおります。</p> <p>次に、１０の地方交付税のうち普通交付税及び２１市債のうち臨時財政対策債については、平成２７年度以降現制度、現率が引続くものとして見込み、双方とも税収等の独自歳入の一般財源を補完するものであります。</p> <p>１４の国庫支出金、１５の県支出金、２１の市債、臨時財政対策債を除く部分につきましては、計画事業の財源として見込んだものであ</p>
---------------	--

	<p>ります。</p> <p>次に、2ページの歳出項目のうち、来年度以降の主要項目及び増減額の理由について、説明します。</p> <p>1の人件費につきましては、来年度の採用人数を3人とし、一般会計の職員数を平成27年度は8.3%減、37人減の410人で、以降31年まで同数と見込み、現行の条例に基づき計上しています。</p> <p>次に、2の扶助費については、今後も高齢者人口の伸びなどから、毎年2%の増を見込んでいます。</p> <p>次に、3の公債費については、昨年度以前に発行済みの市債に、今後の新しい借入予定額の償還金を加えて計上しています。</p> <p>4の物件費につきましては、本年度決算見込額に、来年10月からの増税、また、かずさクリーンシステムごみ処理委託料等を計上したものであります。</p> <p>次に、5の維持補修費は、老朽化が進む学校、公民館等の公共施設の維持補修費として27年度以降に1億円を加算し計上しています。</p> <p>次に、6の補助費等については、26年度決算見込額を基礎とし、君津中央病院企業団の負担金等の今後の見込みにより計上しています。</p>
堺谷会長	<p>途中でごめんなさい。</p> <p>算出の基礎は、4ページにあります。それも併せて言ってもらえますか。</p>
重城財政課長	<p>なお、26年度から27年度にかけて大きく減額になっている理由につきましては、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金等によるものでございます。</p>
堺谷会長	<p>続けてください。</p>
重城財政課長	<p>算出の基礎については、3、4ページに記載のとおりのところは、省略させていただきます。よろしいでしょうか。</p>
堺谷会長	<p>今いくつか説明したから、さっきは数字だけページを我々は開いているから、それで言っただけですから。</p>
重城財政課長	<p>3、4ページに今申し上げている記載の方法と1、2ページを併せてご覧になっていただきたいと思います。</p> <p>次に、12の普通建設事業費は、4ページ記載のとおり現計画を踏まえ算出しております。</p> <p>以上、収支見込の算出方法と主な変動理由を申し上げたところでございますが、その結果、2ページ最下段の歳入歳出差引見込額は、27年度から31年度まで表記のとおり、当該年度の一般財源のおおむね3から5パーセント程度の財源不足で、5か年間の財源不足額は合計約28億と見込んだところであります。</p>

また、財政調整基金残高について申し上げますと、こちらの方に26年度末が見込であります。昨年度末の財政調整基金残高は2億円でございます。これは、県内37市中、銚子市の次に少ない水準であります。近年、大多数の団体は、今後の高齢化等の行政需要に備え、財政調整基金残高を積み増してきたところであります。当富津市では、それを取り崩し、財政運営せざるを得ない状況が続いているところであります。

以上で、本資料の説明を終わります。

続きまして「資料2 一般会計年度別決算推移」についてのご説明をさせていただきます。

これは、平成5年度から平成25年度昨年度決算までの歳入の区分別、歳出の性質別決算額を記載したものであります。

主な項目について説明いたします。

まず、歳入の根幹である市税ですが、46年の市制施行以来、平成5年がピークでございます。その時は108億円、その後、東京電力富津火力の償却資産にかかる固定資産税の増減がありますが、平成23年度までおおむね90億台を維持していたものの、その後減少し、25年度は約86億の決算で、ピークの平成5年度に比べて約22億円の減収となっております。

市の借入である21市債につきましては、平成5年度から平成25年度の各年度の平均が約11億円、借入額が20億を超えた年度が、16年度と24年度であります。一昨年の24年度は、消防防災センター建設を含む消防債が11億円あったところであります。

また、起債につきましては、平成13年度から発行の始まった地方交付税、本来交付されるべき交付税の補完財源である臨時財政対策債の残高が、増加し続け、昨年度末で65億円、市の公債残高全体の43%に上っています。

次に、歳出の人件費についてですが、平成5年から見ますと、平成11年度が最高で約55億円、その後別添資料にありますとおり、様々な行革、財政収支改善策をやったことにより、減少し続け、平成25年度で40億円、その減少額は15億円、約28パーセント減となっております。しかしながら、全国5万人の団体では、歳出に占める人件費率は高い状況は続いております。

次に、4扶助費についてですが、本資料では平成12年度が最低で約12億円なんです。理由が、介護保険事業の開始により、老人措置費が介護保険会計に移行したためでございます。その後現在まで増加を続け、昨年度では30億以上となり、その増加幅は、実に2.6倍となっております。

次に、6普通建設事業費についてですが、平成5年から25年の21年間の総額は、524億、各年度の平均は25億となっております。平成5年度が最高で54億、最低が昨年度、平成25年度で9億円弱となり、その減少額は45億円であります。この額から昨年度は、投資に回せる一般財源がほとんどなかったことが、この数字からも言えると思います。

次に、8公債費についてですが、平成5年度から25年度の21年間の総額は、306億円、各年度の平均は14億5,000万となっています。

また、13年度から発行の始まった臨時財政対策債の償還は、平成25年度で3億7,000万、全体の4分の1にも上ります。

形式収支については、平成5年度以降市長挨拶にもありましたとおり、いずれも黒字決算となっています。

また、資料にはありませんが、平成5年度からの財政構造の硬直化を示す比率であります経常収支比率について申し上げますと、扶助費などをはじめとする義務的経費の増加などの要因によりまして、平成8年度に危険ラインである90%を超えてから、最高は平成10年度の95.4%であり、その後も投資に回せる余裕財源のほとんどない90%を超えており、昨年度は93.1%でありました。更に将来債務額について申し上げますと、平成5年いわゆるバブルの崩壊した時なんですが、283億円でございました。その後様々な行革によって債務を減少し、平成18年度には143億円に半減したところでございます。近年の臨時財政対策債の発行によりまして若干増加して、昨年度末169億円という状況でございます。この二つから財政状況の硬直性が非常に高い状態が、長年続いているということが言えると思います。

続きまして、資料3一般会計財源確保の取り組み実績ですが、資料でただ今ご説明したように、非常に厳しい財政状況が長年続いてきましたので、平成5年度以降歳入確保策、人件費の削減等、ご覧のような見直し策を実行し、財源確保し、財政運営をしてきたところであります。

続きまして、資料4平成27年度予算編成方針について、ご説明いたします。

去る10月10日に全庁の課長職以上を集めて説明会を開催し、予算編成を開始したところであります。

表題の2段目をご覧ください。

先の中期収支見込みで説明しましたとおり、3億円の収支不足を解消するため、来年度を持続可能な行財政運営に転換する「富津市経営改革元年」とするため、職員一人ひとりが改革に向けた予算編成の主体となって、市民サービスの水準を維持しつつ、改革を「できるところから」「ただちに」断行するものとするとしています。

1 総括的事項(1)をご覧ください。

「富津市経営改革元年」の平成27年度予算は、来年度の歳入をもって来年度のすべての経費を賄うため、当市では初めてとなる人件費を含めた包括枠配分方式により編成するものとする。

2 ページをご覧ください。

(2)に、各部の要求可能一般財源額は、原則として各部の今年度当初予算の一般財源に調整を行った額のうえの97%、つまり3%削減としております。これを基本として、現在、各部で今までにない知恵をしばって要求をとりまとめているところであります。

	<p>以上で、資料1から4の説明、財政状況悪化の原因につきましては、会長から説明するよという指示があったところでございますが、先ほど資料2のところでご説明したとおり、財政の硬直性が非常に高い状況が、昭和60年から続く人口減少等によって、基礎的な歳入が減傾向にある割には、義務的経費を縮小するということが、なかなか需要が現実そこにあるわけですから、そのような非常に厳しい状況が続いているということでございます。</p> <p>以上まとめませんが、私からのご説明とさせていただきます。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、市の財政の現状ということで説明がありましたけれども、今日は残念ですけれども、そう議論する時間がない、午後の予定も別に組んでおまして、時間も限られておりますけれども、今の説明の深い内容につきましては、次回以降に回したいと思っておりますけれども、とは言え説明は聞きましたので、幾つか限られた時間のなかで意見、質問があったらお願いしたいと思います。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>具体的な検討は今後となると思うのですが、今ご説明いただいた過去からの実績のなかで、いろいろ数字が上がってきて、人件費と扶助費のお話はあったと思うのですが、いただいた資料で、どういう部分でと財源を確保してきた一覧表があるのですが、逆に増えたのが扶助費の部分、それ以外にも負担が増えているというものがあるのでしょうか。</p> <p>その辺、どのような具体的な変化があるのかどうか、分かる範囲で、簡単に結構ですので教えていただければ、それと、普通建設事業費をかなり削減されているわけですが、これも一部テレビ番組で取り上げられていますように、インフラなどの取り換え時期を迎えて来て、将来的には建設事業費はそう削減できないと思うのですが、そういった将来に向けた負担ということについても検討されていると思うのですが、今、ある程度お答えいただけることがあればお答えいただきたいと思いますが。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>財政課長</p>
<p>重城財政課長</p>	<p>二点目の将来に向けた公共施設の見直し、昭和40年代、50年代に建設した施設が非常に多いものから、既に更新時期を迎えております。そのところにつきましては、本年度国から通知があったところでございますが、経営改革の取り組みのなかでも本項目は計上しており、基本的な方針、人口減少に対応した統合等は進めて行かなくてはならないのですが、現時点の収支見込みでは計上できておりません。具体的な方針で、何年度どういった施設をどうしたらよいか、或いは、この施設はどうしたらよいかという方針は、今から検討作業に着手するところでございますので、本収支見込みには計上できていないところでございます。</p>

大塚委員	<p>そういうことであれば、今回この収支見込みで維持補修費、普通建設事業費を見込んでいらっしゃるけれども、現実的にはもっと増えると考えてよろしいのでしょうか。</p>
重城財政課長	<p>基本的な考え方としてはそのようになると思います。</p>
大塚委員	<p>そうすると現状2%増、消費税が上がっているくらいですけども、現実的にはここがもっと増えてくるということになりますね。</p>
重城財政課長	<p>今のままの施設水準を保つとすると、この表には見込んでおりません。 一点目の人件費、扶助費以外にどの経費が具体的に増えているのかというところがございますが。</p>
大塚委員	<p>例えばですが、資料2でですね、グラフを付けていただいて一番最後に歳出総額に占める性質別構成比のグラフを付けていただいているのですよね。これを見ると緑色の扶助費が上がってきているのは分かるのですが、それ以外に物件費、ほぼ横並びといっても全体には増加傾向にあると言えますし、こういったものを見たときに扶助費以外にも経費が増えているものがあるのではないかとというように思えるのですが。</p>
重城財政課長	<p>物件費の増額要因ということでお答えさせていただきます。 一般廃棄物処理のため、ごみ処理委託料が平成13年度から広域処理となりまして、木更津市にこの君津地域4市で設立したかずさクリーンシステムという会社に対するごみ処理委託料、基本料、変動料も含めましてそこが平成13年度から開始しております。それについては今までの処理方法と違い高レベルな処理となっているために年5、6億円、変動がありますが、増加しているところでございます。</p>
大塚委員	<p>この辺は、質問というよりは意見になるかと思うのですが、富津市の場合、財政的には一見良く、財政力指数も高いわけで、そういう団体が財政的に非常に厳しい状態になってきていると、これは今後の問題になると思うのですが、財政力指数が高く計算される要因になっている計算上の財政需要、現実に支出されているものと大きな食い違いがあるのだらうと思うのですよね。そういった部分で今後検討していく必要があるだらうと思いますし、そこを見極めることで、先ほど、市長さんからもお話がありました、維持可能な状態を作っていけるのかなと思います。 これは今回ここでお答えいただくというよりも、今後の課題としてお考えいただければと思います。</p>
堺谷会長	<p>今日は時間の制約もあって、詳細につきましては次回以降に取り上</p>

落合委員	<p>げたいと思います。 その他、説明に関連してこの際お聞きしたいことがございましたら お願いします。 落合委員</p> <p>現状の把握ということでもう一度確認させていただきたいの けれども、財政の硬直化が原因だということですかね。 特別何か、開発公社で何かあったとかそういったことではなくて硬 直的な財政だったと。</p>
堺谷会長	<p>財政課長</p>
重城財政課長	<p>資料2のところでご説明したところがございますが、過去の債務か ら見ますと、土地開発公社を始めとする将来債務が各地方公共団体で 問題になった時に富津市も同様の問題を抱えておりまして、将来債 務、特に債務負担の残高が非常に多くなったのが、平成5年度がピー クでございます、債務負担を含みますと283億円ございました。 それが様々な普通建設事業を圧縮するとかによりまして、平成18年 度には143億円に半減させましたので、そういう点も含めまして、 その当時は人件費に加えまして義務的経費が、今はその代わりに扶助 費が急激に伸びていると、落合委員がおっしゃるとおりでございま す。</p>
落合委員	<p>現状把握のなかで追加的にお願いしたいものがあるのですけれど も、これは一般会計の話なのですけれども、特別会計のデータもいた だきたいと思うのですけれども。例えば、税収に対しての収入未済 データをいただきましたけれども、社会保障3会計、国保、介護、後 期などの収入未済、そこら辺の収納率も重要ではないかなと思います ので、それも追加でお願いしたいと思うのですけれども。</p>
堺谷会長	<p>追加資料ということで。</p>
落合委員	<p>水道会計は別会計になっているのですけれども、役所の一部でもあ りますし、水道も今回の取り組みに入っているのでしょうか。</p>
堺谷会長	<p>企画財政部長</p>
刈込企画財政部 長	<p>こちらについてですが、やはり水道への繰出し、こういった一般会 計との関わり、そのようなものがございますので、市といたしまして は一般会計の収支見込みとさせていただいたところがございますが、 そのような関わりもございますので、ご指摘のような点もあろうかと 思います。</p>
落合委員	<p>水道会計の方も同じ目線で、一般会計と同じ目線で見ると思 いますので、同じ一つの役所ですから。</p>

堺谷会長	市としてということで、よろしく願いいたします。
刈込企画財政部長	そうしましたら、特別会計、企業会計を含めたなかで、財政状況といった資料を用意させていただきまして対応させていただきます。
落合委員	基本的には一般会計を見るだけではなくて、市役所として見ていくと。特別会計も含めた。
堺谷会長	<p>よろしく願いします。</p> <p>大変恐縮ですけれども、どうしても時間の制約が頭から抜けないものですから、今日の説明についての質疑等は、申し訳ありませんがこの辺までと。次回以降でまたお願いしたいと思います。</p> <p>私の方から、今説明のあった財政悪化の要因等を踏まえて、これから経営改革に着手するわけですが、今からでもできるものはあると思うのですよね。経営改革にどのように着手するのか、ありきたりのことに手を付けるか、そのへんは差し迫った問題でもあると思うのですが、その辺は市長さんどうでしょうか。</p>
佐久間市長	<p>緊急に解決すべき課題ということですが、今年度決算剰余金の確保と、目前に迫っております平成27年度予算であります。そのため、直ちに今年度、3つの具体的な取組みを実施していきたいと考えております。</p> <p>一つ目は、「義務的経費以外の執行抑制」です。</p> <p>市民サービスに影響の出ないような経費などについて、更に執行を抑制し、備品など細かなものも含めて止められるものは止めて参ります。</p> <p>二つ目は、「税の徴収率の向上」です。資料5に市税徴収率の推移がありますが、富津市は市税の徴収率が90.1%と全国平均の約94%、千葉県平均の約93%よりも著しく低い状況にあります。年度内残り5か月の間においても、徴収率向上の取組みを強化して参ります。</p> <p>最後に「基金の見直し」であります。各基金の概要を資料6として配付させていただいております。</p> <p>市が管理するこれらの基金を有効に活用するため、本年度中に見直しを行います。</p> <p>以上を「緊急改革の3本柱」として実行します。</p> <p>これらの取組みにより、今年度決算剰余金1億円以上を目途に確保いたします。</p> <p>この3本柱につきまして、委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。</p>
堺谷会長	今、市長の方から緊急にということで3本柱の取組みをしたいと。ついてはこの3項目について意見をいただきたいという話があり

	<p>ました。</p> <p>本来、経営改革についてはトータルで議論を進めることが良いわけですけれども、現実問題として今年度の事業は進んでいると。ただ半年は終わっていますけれども、今年度これからの事業もあるのかも分かりません。それから来年度予算については、予算編成方針のお話がありました。予算につきましては丁度手を付けているところというように、現在進行中のことも見直して良いだろうと、市長の緊急の見直しのお話があったかと思えます。</p> <p>ということで、こういう緊急の話も同時に議論する必要があるかと思えますので、どうでしょう、今日限られた時間ですが、市長から要請のあった緊急の項目、今年度にも改革に取り組みたいということがありましたので、この辺を取り上げて今日の残りの時間、議論をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。はい。どうぞ。</p>
<p>原田副会長</p>	<p>緊急改革ということで市長からお話がありました。非常に重要なことだと思っておりますが、すいません、私の認識が少し足りないのかも知れませんが、2点目の税の収納率の向上と3点目の基金の見直しというのは具体的にどういうことをされる、どういう体制を組まれるのか、それをいつまでおやりになるのかというのがないんですね、基本的な考え方としてはなるほど私も理解しますが、それがないと緊急改革はあり得ないのではないかと思います。</p> <p>その当たりにつきましてご説明を追加いただければと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>執行体制ですね。</p> <p>納税課長</p>
<p>村上納税課長</p>	<p>税の関係につきましてご説明申し上げます。</p> <p>現在、半年余り過ぎておりますけれども、昨年は市長からお話があったとおり90.1%でございます。半年過ぎた状況で今年度見込みにつきましては90.5%、約0.4%の改善が見込めるところでございます。</p> <p>そのようななかで私共の業務でございます徴収につきましては、日々全力を尽くしまして徴収率の向上に努めているところでございます。今以上の実績を上げるように徴収に努めて参りたいと思えます。</p>
<p>原田副会長</p>	<p>基金の見直しについてもお願いします。</p>
<p>重城財政課長</p>	<p>基金につきましては、資料6をお配りしたところでございますが、例えば災害救助基金につきましては、今まさに役に立とうとするものでございますが、実際には活用されていない状態でございますので、それをなぜ活用してこなかったと言いますと、目的が災害仮設住宅等の非常に発生しにくい目的が設定されておりますので、そのところに</p>

<p>原田副会長</p>	<p>ついて庁内で検討を行い活用できるような方策について今年度中に、3月議会を目途に出して方針を決定するとともに、来年度以降の財源の確保に活用して行きたいという方針を示して、休眠の状態にあるものを廃止、あるいは統合することによって来年度以降の財政運営につなげていきたいと考えております。</p> <p>今の税の収納率の向上にしても基金の見直しにしても現時点で、近い将来どうするのだというところまでお伺いできるのかなと思ったのですが、あまり具体的なところが。短時間でご説明いただいたということもあるかも知れませんが。</p> <p>私が問題だというのは、とにかく待ったなしだと、市長が緊急改革だとおっしゃっておりますので、そこは具体の税にしても体制を、今の体制でも関係職員さんは頑張っていると思うので、それに加えて体制を強化するようなことがあるのかどうか。あるいは、基金にしても具体にどういう方針を立てていくのかと、どれとどれを手を付けるのかということをお早急に対応していただかないと、すぐに10月も終わってという段階でございますので、予算編成もやがて始まるという時期であって大変ではないかなと思っておりますので、是非、積極的な取り組みを進めていただきたいと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>その辺は企画財政部長どうですか。</p>
<p>刈込企画財政部長</p>	<p>こういった徴収の取り組みの強化によりまして、これが毎月どれだけ向上されたか、そのようなことを今後、こちらの会議の方に報告させていただくことも必要なと、そのように考えております。</p> <p>基金の方につきましても、各所管の部局、こちらの方に現在の課題を含めたなかで、こちらの方の調査を行ったなかで、現在ヒアリング等も行っておりますので、こちらの方も会議に報告して行きたいと考えております。</p>
<p>原田副会長</p>	<p>是非、そういうことでお願いしたいと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>取り組みの体制も大事だと思います。よろしく申し上げます。他にどうでしょうか。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>今ご説明いただいた内容で2番目、3番目があったのですが、義務的経費以外の執行抑制というお話があって、今回いただいた資料1の一番最後にあるように、かなり近い将来に赤字、なおかつ、財政再建が義務付けされる団体になり得るという状態のなかでは、まず支出を削減するということが、市長さんが言われた緊急避難的な措置ということではまず必要だということは私も分かります。</p> <p>ただ、正直今回この委員を務めさせていただいて私としても発言させていただくことになるのは、一番怖いのは目先の削減になってしまうこと、まず減らしやすいところを減らすといったかたちで減らした</p>

	<p>場合、将来的には逆に負担が増える危険性が高いと思うのですよね。</p> <p>維持可能なというキーワードを最初からも使われているように重要なのは富津市の将来が成り立つのであって、そのためにはまずは、削減は必要なのですが、更には実際の義務的経費などのベースになっている事務事業、業務内容まで全部見直してやっていく必要があるだろうと思います。そういう意味では、まず短期的なものとして今回の緊急改革は分かるのですが、あくまでそれで一回凌いで、少なくとも来年、再来年には大幅な赤字になることは防いだ上で、むしろ抜本的に将来の予測、人件費を減らして職員削減というお話もあったのですが、これも怖い部分がありまして、新しい職員の方が入ってこない今職員の持っている行政サービスの提供ノウハウが失われる危険性もあるのですよね。そうすると目先で人件費が減っても将来的には市民の方に不利益が生じることになる。</p> <p>普通建設事業費に関しても先ほど申し上げたとおり、今後負担が増えると考えなければいけない。そうでないと生活に支障が生じると、まず、そこから減らしていくことにはなってしまうのですが、常に将来というところに視点を置いて、あくまで今回の1・2年の対策として緊急改革を進めていただくというように思います。</p> <p>このへんもご検討いただければと思います。</p>
堺谷会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>落合委員どうぞ。</p>
落合委員	<p>収納率を高めるということは住民間の公平性を守る上では必要なことで、何も今更緊急にやるということではなくて、日常やっておかなくてはいけない話ですので、これはもう明日からやるべき話だと思います。</p> <p>次の基金の見直しですけれども、見直しは当然必要であろうと、ただ、基金が翌年簡単に財源に回ってしまうと、せっかく積み立ててきたお金を取崩して財源に回ってしまうと消えてしまいますので、そこら辺は慎重に検討して行かなくてはならないだろうということも補足させていただきたいと思います。</p>
堺谷会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>笠原委員どうぞ。</p>
笠原委員	<p>今回新聞発表、記者発表です、非常に天下白日の下に富津市が危ないのだよという警鐘を鳴らしたわけなのですが、せっかくこれだけのことをやったのですから、緊急措置と言っても今の税の徴収率にしても納税の公平性を図るという点からもですね、少なくとも富津市は今特殊な状況なのだから全国平均よりも上げなければいけないといった目標を持って。</p> <p>今回、市民が非常に危機感を持っています。1, 700人も説明会に集まるということは、まず普通ではあり得ない危機感を持っている</p>

	<p>わけですから、この際これを逆手に取るというか利用してですね、徴収率なんかも全国平均よりも上げていただきたい。その具体策をお聞きしたいと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>企画財政部長</p>
<p>刈込企画財政部長</p>	<p>それでは、担当がお話させていただきます。</p>
<p>磯貝市民部長</p>	<p>市民部長でございます。 税の徴収につきましては当部が担当しておりまして、具体的な方策といたしましては、平成23年度から滞納処分に方向転換してございます。というのは、それまでは滞納整理を主とする方策によって行っておりました。しかしながら方向転換をし、これまでは自動車等の物件の差し押さえを行ってきたわけですけれども、これからは不動産等、税の公平性を考えましてそのようなものに早急に着手して行きたいと、そのように担当としては考えております。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>ありがとうございました。 他にいかがでしょうか。</p>
<p>原田副会長</p>	<p>先ほど、大塚委員からご指摘があったのを私も等しく感じておるところでありまして、確かに足元の話としては、先ほどの3本柱はそのとおりなのですが、先ほどの諮問事項にありますとおり、持続可能な行政経営ということでありまして、私が一番懸念しますのは公共施設の関係です。これは大塚委員から再三ご発言がありましたけれども、やはりこれを現状においてどれだけの年数を経ていてどれだけ老朽化していてというところをデータベースと言うのでしょうか、そういうものを全庁的に把握しておられるのかどうか、そして、それを踏まえて具体的に今後どれだけの財政需要が生じて行くのかということを積算しておられるのかどうか、もしそれをしておられないのであれば、それは早急にやっていただかないと。 およそ持続可能な行政経営と言っても、大変失礼な言い方かも知れませんが絵空事になってしまいますので、そういうものも加味したうえで私の方も議論させていただきたいと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>ありがとうございました。 この点は次回の議論、あるいは、資料ということでよろしいですね。はい。 今、市長からお話のあった緊急に取り組む、今年度途中であるけれども今年度から取り組むということで3点ありました。 各委員の皆様から意見とか注文とか出たわけですが、例えば税にしても具体的な取り組み、具体的な説明は、今日は無かったのですが、滞納処分で行っているということで正直安心しましたが、そういった</p>

	<p>取り組みをもっと強化するとかそういった具体的な方策、多分、市の方でも持っているのだらうと思いますけれどもそういう注文がありました。それと目先の削減で終わってはいけないということもありましたけれども、それらを十分踏まえて、こういった市長の今年度からできることを取り組むということをやってもらおうと、それが来年度以降につながるというように思うわけですが、そのへん我々の方の意見として、市長が取り組むということについて了承するしないについて、これは重大な話ですので挙手で意思表示をお願いして、会議として是非やってもらおうという意思表示に替えたいと思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、市長からお話のあった緊急に取り組む緊急改革3本柱を是非やってもらおうということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(挙手全員)</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>市長、今お聞きのとおりいろいろ注文もありました。それをやることで来年度にもつながるといふ工夫の中で是非緊急改革3本柱を取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、先ほど説明のあった市の現状、あるいは、財政悪化の要因について意見を伺いたいところですが、もう午後の予定にも影響してしまうと、12時を回ってしまいました。その辺は次回の会議で取り上げて議論をお願いしたいと思います。</p> <p>一つだけ次回のためにということで、次回の会議までに市の方で用意してもらいたい資料の注文がありましたら、先ほども公共施設についてのデータベースの話もありましたが、それ以外で次回の会議のために用意してもらいたい、あるいは、整理してもらいたいそういったものがありましたらこの際お願いしたいと思います。</p>
<p>笠原委員</p>	<p>歳入歳出に関する資料とかですね、基金に関する資料をいただいたのですが、いわゆる企業経営で言うバランスシートに当たるもの、貸借対照表こういったものはあるのでしょうかね。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>企画財政部長</p>
<p>刈込企画財政部長</p>	<p>財務諸表も作成しております。</p>
<p>笠原委員</p>	<p>それも参考にさせていただいて、体質改善すべきところがあるかどうか判断したいと思います。</p>
<p>堺谷会長</p>	<p>落合委員</p>

落合委員	<p>社会保障の収入未済をお願いしたい。</p>
堀谷会長	<p>社会保障関係の収入の状況ですね。 それもお願いします。 他にいかがですか。 それでは準備をお願いしたい資料や準備の項目等がありましたら個別に事務局までお願いしたいと思います。 今日、第1回目ということで時間が足りなくて委員の皆様には消化不良といった一面もあったかと思いますが、次回以降活発な議論、ご意見を是非お願いしたいと思います。 今日、第1回目ということで予定した時間が参りましたので、今日はこれにて終了といたします。 ご協力ありがとうございました。</p>

以上